

二三千圓に達せるものあり、又フエロタンクスステンも、平時噸三千圓のもの、目下一萬五千圓以外に奔騰せるより、大膽に之れか試験製造に着手する者少からず、而も其の成績意外に良好にして、就中櫻田幸雄氏等の日本電氣製鐵所は、既に

▲二噸の銑鑪 一臺を以て銑鐵、同上二臺を以て鋼鐵を製造し三百キロの電力にて日に十八噸宛市場に出しつゝあり、又た名古屋電燈の製鋼部も寒川恒定氏苦心の結果、工場機械等悉く竣成し、七月より製品を賣出すこととなり、電力一千キロにて合金鐵四五噸特種鋼千四五噸の生産を爲す筈にて、孰れも陸海軍其他各方面より引合續々來り、是等の纏まれる注文にて殆んど手一杯となるへき模様也、尙ほ此外にも合金鐵の製造計畫としては、藤田組か三千キロの動力を以て、從來餘り顧みられざりし硫化鐵鑪の使用に成功せんとしつゝあり、特種鋼は土橋、最も早く安來、米子の各製鋼所孰れも全能力を以て之れか製造に従事し居れるか、是等の能力は全體にて

▲月五噸内外に 過ぎざる模様なれば、前記日本電氣製鐵及び名電製鋼部の營業開始は需要界に多大の便宜を興ふる事となるへし、更に又た我國には水力電氣起工に適する河川は到る所にあり、小鐵山亦た諸所に散在せるか、若し之を從來の如く製鐵所のみにて製造するものとせば、依然鑛石運搬其他に就き非常の手續を要し、到底製鐵事業の勃興

を期すへからざるも、水力電氣を利用する方法發達せんか、其の事業經營に於て十分收支相償ふ事を得べく、殊に其需要は平時と雖も合金鐵、特殊鋼とも五六千噸にては供給尙ほ足らざるに加へ、其の販路も世界的なれば、今後は等の電氣製鐵業は益す有望なると同時に、其事業は漸次勃興するに至るへしと云へり。

●工業試験所の鐵材檢定開始 農商務省直轄工

業試験所の擴張新事業たる鐵材檢定は家屋の新築既に完了し、當初米國に注文したる機械十臺も時局の爲め船腹の都合上此程に至り漸く六臺丈到着目下据付中なれば準備出來次第愈事業を開始すべく、檢定能力は約百噸迄にして同試験所は常時試験的檢定を行ふ外希望により民間の檢定申請に應ずる筈なるか、該檢定料は追て勅令を以て公布せらるへし尙同所は右の外電氣化學染織試験材料等をも擴張し準備整頓次第實行の筈なり。

●伊國鋼鐵材生産調節

伊國に於ける鋼鐵其他金屬材生産に對する調節策に關し林大使より左の如く報告ありたり。

本年三月三十日附勅令第三七〇號を以て伊國政府は自國に於て金屬材を製造産出する工場に對し一層嚴重なる監督を施行し其生産を調節する外製造品の分配を爲し、且該金屬材の賣買に關しては政府に於て之を認可すると爲り其價格に關しても亦政府に於て時々之か制定を爲すこと爲れ